

府民の期待に こたえる春闘に

なくせ貧困

府職労春闘討論集会を開催

生活破壊の「賃金抑制 攻撃」を許すな!

府職労は、府職労春闘討論集会を開催し、参加者からの活発な討論をうけて、08国民春闘方針を確認しました。
今春闘の中心課題は、①貧困をなくし、賃金の底上げ・最賃引上げを勝ち取る②長時間過密労働をなくし、「働くルール」を確立する③増税反対、社会保障制度の充実を求める④憲法改憲反対、平和と民主主義を守る運動を前進させる、です。春闘を取り巻く情勢は、昨年の参院選挙後の変化にみられるように、労働組合の闘いと運動が世論に大きな影響を与え、国民の意思



08年国民春闘の批准投票 組合員みんなの投票・ 行動参加で、要求実現 働きやすい職場をめざそう!

自治労連は、幅広い国民との共同で、憲法改憲反対や社会保障拡充、指定管理者制度・地方独立

行政法人化などによる自治体業務の市場化・民営化・住民サービス切捨て反対、雇用確保・サービス残業の掃など、「働くルール」の確立、すべての労働者の生活改善、均等待遇の実現を求め、08国民春闘を全国の職場と地域でたたかいます。08春闘では、公務・民間の仲間が力をあわせて3月13日に要求実現をめ

働くルールを確立して 生活改善、均等待遇の実現を

批准投票の実施について

(告示第1号より抜粋)

- ◎投票日 2月21日(木)午前9時～正午まで(不在者投票は、2月15日から)
- ◎投票場所 本庁及び各出先機関
- ◎開票 2月21日(木)午後7時より

大企業の横暴を許さず、安心して働くルールをみんなで作りましょう。

府職労は「ルール署名」1人5筆目標で取り組みます。

「中国製キヨージ」の農薬中毒事件は大きな社会問題です。この問題をどう見るのか、何が求められているのかを、「食料を守り、日本農業再建をすすめる大阪府民会議」の事務局長の英彰(はなつさあきら)氏にお聞きしました。



中国産キヨージに猛毒の農薬が混入され、千葉・兵庫で中毒事件が発生

安全検査の抜本的強化と食料自給率の向上がおおきな力

食料を守り、日本農業再建をすすめる大阪府民会議

事務局長 英彰(ハナフサ アキラ)

から輸入される食品の安全性が今回の事件で大きく問われています。外ではありませぬ、いまだ日本の食料自給率は、食品の安全検査は十分で

生し、その影響が拡大しています。混入の真相については現在捜査中ですが、いづれにせよ大量に製造・消費される加工食品・冷凍食品、特に外国産が3・7倍に増加して

はありますが、厚生労働省が行う輸入食品の安全検査は生鮮食品を中心に10%しかできていません。しかも流通を止めないサンプル検査ですから、事

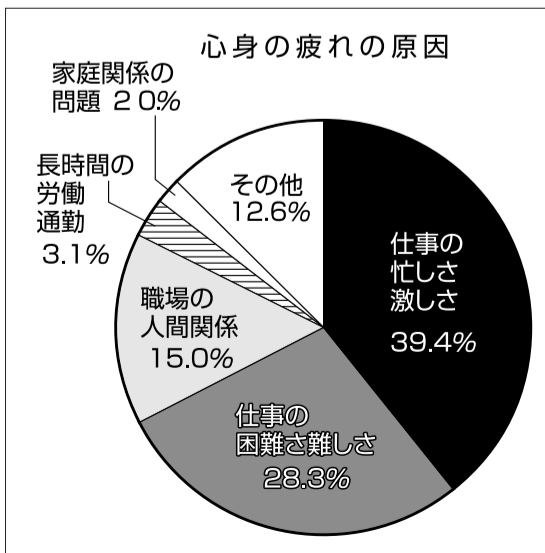
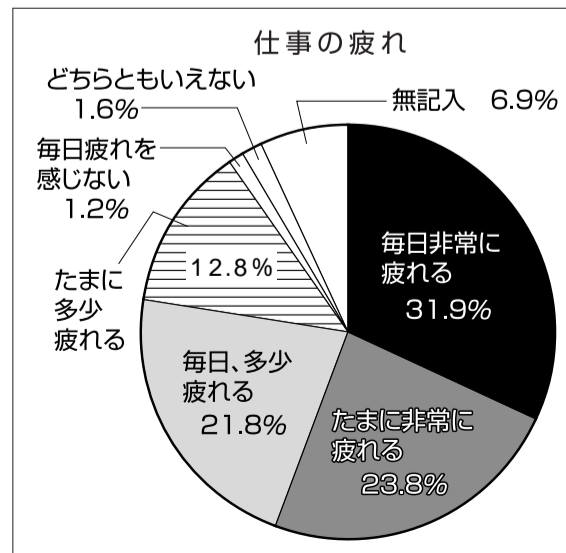
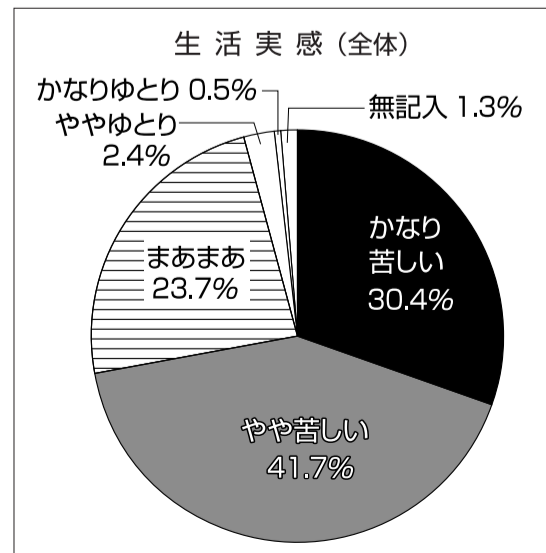
肉の輸入緩和も国策として進められています。このままでは再度同じことの繰り返しとなり、そのしわ寄せは高齢者や子どもたちへ重くかかってく

解決策はと問われると非常にむずかしいですが、基本的には国や都道府県

「中国製キヨージ」の農薬中毒事件

大阪自治労連2008年春闘要求アンケート中間集約結果

働くみんなの要求アンケート 生活実態「苦しい」72.1%



大阪自治労連は、08年度春闘に向けた要求アンケートを取り組んでいます。府職労も、その中で項目を絞り込んで、アンケートの取り組みに参加しています。2月6日にその中間集約結果が出ましたので、お知らせします。

大阪自治労連としての、第一次中間集約では、509人の集約です。

生活実態について、「かなり苦しい」や「苦しい」をあわせて「苦しい」が72.1%、非正規では77.8%が「苦しい」と答えであり、苦しい台所事情が続いていることが伺われます。中でも非正規は、かなり苦しい、が正規の比率を大きく上回っており、格差の実態が大きく現れています。一昨年に強行実施された「給与構造改革」による賃金水

大阪自治労連は、08年度春闘に向けた要求アンケートを取り組んでいます。府職労も、その中で項目を絞り込んで、アンケートの取り組みに参加しています。2月6日にその中間集約結果が出ましたので、お知らせします。

大阪自治労連としての、第一次中間集約では、509人の集約です。

生活実態について、「かなり苦しい」や「苦しい」をあわせて「苦しい」が72.1%、非正規では77.8%が「苦しい」と答えであり、苦しい台所事情が続いていることが伺われます。中でも非正規は、かなり苦しい、が正規の比率を大きく上回っており、格差の実態が大きく現れています。一昨年に強行実施された「給与構造改革」による賃金水

橋下知事は、2月6日の記者会見で、「財政非常事態宣言」を打ち出し、

この間の新聞報道等では、全事業と42の出資法人25の府有施設の見直し、子育て支援などの公約違反ともいえる私学助成の削減、小学校35人学級の見直しを表明する一方、

「財政非常事態」はムダな大型公共事業のツケ 府民生活擁護と財政再建を両輪で

また、「りんくうタウン」(箕面森町)泉佐野「コスモ」の3事業につ

て検証し、反面教師としてたいと発言していますが、